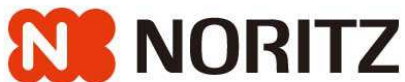


新しい幸せを、わかすこと。



News Release

2016年6月9日

ノーリツ、兵庫県と連携し熊本地震の支援として 自衛隊の支援体制縮小後の避難所生活をサポート

熊本県益城町の避難所にシャワールーム 4 基とガス給湯器合計 16 台を提供

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社:神戸市、代表取締役社長:國井 総一郎、資本金:201 億円、東証一部上場)は兵庫県(知事:井戸 敏三)と協力し、熊本地震被災者支援のため熊本県益城町の避難所に、プライバシーを確保した脱衣室併設のシャワールーム 4 基と、ガス給湯器計 16 台を無償提供しました。

現在避難所となっている「益城町保健福祉センター(はびねす)」(熊本県上益城郡益城町惣領 1470)には、シャワールーム 4 基(ガス給湯器含)を設置、「益城町総合体育館」(熊本県上益城郡益城町木山236)にはガス給湯器 12 台を提供しました。「益城町保健福祉センター(はびねす)」に設置したシャワールームは 6 月 1 日に当社明石本社工場を出荷し、6 月 2、3 日に同センターで施工の上、3 日に引き渡しを完了しました。



益城町保健福祉センター(はびねす)

益城町の避難所では、自衛隊の撤収に伴う風呂サービスの終了により代替となる入浴施設の設置が急務でありました。そのような状況の中、当社は兵庫県と協力して同町に支援を打診し、避難所 2 ヶ所へのシャワールームとガス給湯器の無償提供を決めました。



シャワールーム内の様子

今回のシャワールーム提供は、「お風呂は人を幸せにする」を創業の原点とし、阪神・淡路大震災時に全国から支援を受けた兵庫県の企業として何か恩返しをしたいとの思いをもとに実現しました。

東日本大震災の際にもシャワールーム 12 基を提供しており、当時のノウハウを活かし、より改良したものを提供しました。

また当社は 6 月 2 日、被災地の復興や被災者支援に役立てていただくための義援金 5,335,147 円を熊本県に寄付しました。当社従業員から寄付を募り、集まった金額と同額の 1,684,500 円を当社が拠出し、当社グループ従業員、労働組合からの義援金も合わせて寄付しました。

《参考:シャワールーム概要》



シャワールームイメージ図

- プライバシーに配慮し、個室型のシャワールームに脱衣室を併設。
- 高齢者に配慮し、シャワールーム内には手すり、介護用シャワーチェアを設置。
- 断熱性を考慮し、シャワールームの壁と床は当社製システムバスの壁を使用。
- システムバス壁の印刷技術を活かしシャワールーム内の壁には「がんばろう熊本!」の文字を印刷。

項目	仕様
外形寸法	幅 220cm×奥行き 200cm×高さ 240cm
重量	約 600kg
外装	サイディング
設備(シャワー室)	折り戸、手すり、収納棚、鏡、ノーリツ製ミストシャワー「AMU-2」、シャワー水栓、照明、換気扇、コンセント、シャワーチェア(介護用)
設備(脱衣室)	鍵付き入口ドア、カーテン、脱衣カゴ、バスマット、手すり、照明
給湯器	ノーリツ製ガス給湯器(20号、LPガス用)

※今回のシャワールームは、当社の製品ではなく、協力会社と設計・製造したものです。製作期間、約 20 日。